

## 預言アップデート 聖書預言と現世界情勢 2019.10.27

<https://www.youtube.com/watch?v=a4R0i8LVVvk&t=48s>

さあ、では聖書預言アップデートを始めましょう。皆さん、我慢して私にお付き合いいただくこととなりますが、よろしくお祈りします。今週は、預言的に非常に忙しい週でしたので、整理しなくてはなりません。まず、今朝あなたがこれを聞いたかどうかわからないですが、この速報で目覚めました。

トランプ大統領は、イスラム国指導者のアブ・バクル・アル・バグダディが米国主導の作戦で、シリアで殺害されたと発表しました。これは大きな、大きなニュースです今朝、私はニュースフィードを見ていたときに、本当に衝撃を受けました。というのは、わたしはずっとシリア情勢の進展を特はずっと追って来ていたからです。それをこれからお話ししようと思っていますが、私が本当に衝撃を受けたのは、重点が、これまで通り、シリアの石油を保護することに置かれていることです。それがイスラム国の手に入らないようにするのです。実際、私たち（米国）がシリアから軍を撤退させているにもかかわらず、私たちはシリアの石油を保護するという目的だけのために、軍の一部を残しているのです。

また、今朝のニュースで、実際、私はハワイ時間の4時にチェックしたのですが、この会談の成果はありませんでした。今日、イスラエルのテルアビブで、青と白の指導者ベニー・ガンツと、ネタニヤフ首相が、この行き詰まりを打破し、政府樹立することを期待して会談しました。私はちょうど礼拝の前に見ていたんですが、どうやら約一時間前に、彼らは会談を終了しました。ある情報源によると、彼らは可能性のある政治的枠組みについて議論しました。そして、恐らくもう一度会談を開く予定だということです。これは「青と白」からのものですが、リクード党も基本的には、同じことを言ったということです。言い換えれば、結論に至っていません。イスラエルの政権樹立は、結論が出ません。これについてもお話したいと思います。

聖書預言を教える側も学ぶ側も、皆、これらの展開を見て、同じ結論にたどり着こうとしています。

そして、その結論とは、私たちが目にしていることは、まさしくイザヤ書17章において、実現すると告げられていることだということです。それは、シリアのダマスカスが荒廃して人が住めなくなる都市になるという預言です。そして、エゼキエル書38章。ロシアの指揮による同盟国、トルコ、イラン、その他全てが、シリアとイスラエルの国境であるゴランを通って、北からイスラエルに侵攻してくるというものです。

私が今日やりたいことは、特にイザヤ書17章、エゼキエル書38章のこれら二つの預言の詳細に関連して、ある種の預言的チェックリストを見ることです。皆さんに知っておいてほしいのですが、これらの預言、特にエゼキエル書38章の預言は、この将来に起こる北からの侵略と攻撃に関する詳細という点で、特殊性に満ちているんです。だから私は、以下のことに注目したいと思います。

イスラエル政府の脆弱な状態、ロシアの地政学的な位置づけ、そして米国の軍事的な不在です。言ってみれば、ビッグ3です。最初の詳細は、エゼキエル書38章の13節で、シェバとデダンと言う古代名で挙げられている、アラビア半島の、こんにちサウジアラビアとして知られているところです。それは現在のサウジアラビアであり、サウード家、イブン・サウードに与えられたからです。だからサウジアラビアというのです。もしワハビに与えられていたら、ワハビアラビアと呼ばれていたでしょう。しかし、それはサウードに与えられたのです。イスラム教スンニ派です。そして、本当に、とても衝撃的なのは、このエゼキエル書38章の預言にある詳細は、よりもよって、豊かな産油国であるサウジアラビアが、イスラエルに対して味方しているように見えることです。そして、そうする上で、この同盟国によるイスラエル侵攻に異議を唱え、抗議さえするというものです。これはまさに、私たちが目にしていることです。

水曜日、アメリカの地政学的情報プラットフォームのストラトフォードが発表した記事の内容は、ロシアとトルコが、いかにシリアで「分捕り物（記事からの引用）」を分けているか、というものでした。

まあ、それはまさに、エゼキエル書38章に書かれているとおりです。ロシア、イラン、トルコなどが、みな、そ

の目的のためにイスラエルに侵入するのです。分捕り物を手に入れるために。そして、サウジアラビアは「おま  
えたちは分捕るために来たのか？」と尋ねます。ジョン・コーソンがいつも言っていることですが、「分捕り  
物(SPOIL)からSPを取ると、オイル(OIL)になる」私はこれがすごく気に入っています。私は、それは石油にと  
どまらないと思います。石油は最近、イスラエルには今日、非常にたくさんの量があることが発見されています。  
それと、天然ガスも。それは、こんにちのイスラエルが持っている金、技術、水でもあると思います。ですから、  
火曜日（10月22日）にロシアのソチで行われた会談で、プーチン露大統領とトルコのエルドアン大統領は、米国  
がシリアから撤退した直後に、この合意に達しました。私がこのことを今ここに含めたのは、これがまた、13  
節に書かれていることにも 当てはまる可能性があると思われるからです。まず、13節は 基本的にこう述べてい  
ます。

私も出来る限りうまく言い換えてみます。サウジアラビアとタルシシュの商人たち、およびそのすべての若い獅  
子たちは、ともに、石油、金、上記のすべての繁栄を分捕るためのこの侵略に抗議し、異議を唱えます。です  
から、問題となるのは。。。 私たちにはシェバとデダンが誰であるのかが分かっています。それは聖書からも明  
らかです。

しかし、それほどはっきり分からないのは、タルシシュの商人たちとは誰のことか、また、その若い獅子たち  
とは誰のことか、ということです。そこで、絶対に独断的になることはできないのですが、中にはこう推測する  
人たちがいます。タルシシュの商人たちとそれらの若い獅子たちとは、英国と米国への言及であるという可能性  
がある。彼らの考え方は、英国の国家の象徴はライオンであり、米国はライオンから来た若い国だというもの  
です。そういう考え方です。さて、それが事実なら、正直なところ、公正を期して言うなら、そうかもしれない  
と思えるように見え始めています。それならば、確かに、なぜ米国が顕著に不在なのか、あるいはこの侵略の  
時に、なぜ軍事的に重要でないのかの説明がつくでしょう。言い換えれば、何かが起こって、イスラエルの防  
衛上、アメリカ合衆国は重要ではなくなります。我々はイスラエルを防衛しないでしょう。我々は必ずしもイス  
ラエルに 敵対するわけではありません。しかし、我々はこのイスラエルへの侵略に 抗議するのです。

公正を期して、事態がこのように見え始めていて、この若い獅子が実際に米国への言及である可能性がある  
と、私が述べた理由は、面白いことに、私たちは今、シリア/イスラエルから、サウジアラビアに移動している  
からです。

火曜日のウォール・ストリート・ジャーナルが、王国の軍事施設の見学中に、国防長官マーク・エスパーがサ  
ウジアラビアの国王と会談したことについて とても面白い報告を公表しています。

その会談の目的は、米国がトランプ政権の最大の中東部隊増強を追求することでした。ですから、言い換え  
れば、我々はイスラエルの近くにあるシリアから部隊を撤退し、代わりにサウジアラビアに部隊を派遣して  
いるのです。さて、これはエゼキエル38章1～5節の三番目の詳細につながっていきます。

それは、このゴグという名前の指導者、G-O-G。ゴグ。それがその指導者の名前です。そして彼はマゴグの地  
から来ます。そしてロシアとして知られるこのマゴグから来た指導者は、この地域での顕著な役割により、この  
国々の同盟の舵取りをすることが分かっています。皆さんが読んでいるニュースフィードが、少しでも私のと似  
ていたら、皆さんは私と同じ記事を読んでいます。米国のシリアからの撤退が、いかに、プーチンにシリアの  
全支配権を 渡してしまったも同然であるかについて。

「何を言ってるの、先生？ ウラジミール・プーチンがゴグだと？」

分かりません。少しそうかもしれないと言う風に見え始めて来ていますがね！(笑)

「さあいいよだ！って言っているんですか？」 そうかも知れないように見えます。そのことについてもっとお  
話するつもりです。金曜日のハアレツは、アメリカ兵が撤退するにつれて、数百人の追加のロシア軍がシリア  
に到着したと 報じました。この記事によると、

「さらに、地上の状況がいかに 劇的に変化したかを強調している。」

私はそこに、非常に迅速に、一晩のうちのよう、と付け加えます。これが四つ目の詳細につながります。エゼ

キエル書38章8～11節によれば、これらすべてのことがイスラエルが政治的に脆弱な時に起こるようであることです。イスラエルは経済的に繁栄し、軍事的に強くなっているにもかかわらず、彼らは政治的に攻撃を受けやすくなっています。この経済的繁栄と、軍事的な強さが、実際には、彼らに安全に対する誤った意識を与えているのです。油断してしまうんです。理解してほしいのは、こうしている間にも、イスラエルにはちゃんと機能している政府がありません。厳密には、ベンジャミン・ネタニヤフは首相ですが、彼には実際の所は何もできません。そして、周辺の国々はそれを知っています。ですから、誰もが聞きたいと思っている質問は、「ガンツやネタニヤフが組閣できなかつた場合に何が起こるか？」です。

イスラエル・ハヨムには、この点に関して、私の意見では、非常によく書かれた記事がありました。その意見は、ガンツがイスラエル大統領から託された実質上無意味な委任状は、最終的には、ネタニヤフに戻って来るだろう。ネタニヤフは、先ごろ組閣に失敗したために、その委任状をイスラエル大統領に返却し、大統領はそれをネタニヤフの競争相手に渡していた。その記事を引用させていただきます。

「歴史が10年ぶりにイスラエルで作られた。ベンジャミン・ネタニヤフ以外の誰かが組閣の任務を負うことになる。」...ようだ。その記事は続けて、彼らが政権を樹立できない場合、その確率はますます高くなっているが、その場合、イスラエルはまた解散総選挙をすることになるだろうと言っています。

前代未聞です。そして、私が目を通した世論調査や、記事のいくつかは、その（総選挙）の結果はまったく同じものになるだろうと言っています。だからこそ、たとえ妥協しなければならぬとしても、彼らは一緒になって政権を作ろうとしています。これはガンツにとっては心配の種です。彼は、クネセットのアラブメンバーと連携するのでしょうか？そして、もし彼が何とかして、この任務によって、ネタニヤフ抜きで政権樹立することができたならば、専門家の中にはそれは起こらないと信じてる人たちもいますが、しかし、予測できないし、先のことは分かりません。つまり、誰にもはっきりと言うことはできません。私に関して言えば、以前にも言ったことがあります。そして、これを超扇情的に聞こえるように言うつもりはありません。しかし、私にとっては完璧な嵐です。エゼキエル書38章の預言の興味深いもう一つの詳細は、ここで最後の5番目の詳細について説明しますが、この侵略する同盟、この軍隊は嵐のようにやって来ます。突然に！さて、この最後の詳細に行きましょう。

エゼキエル書38章の最後の三節21節から23節。そして、今日の残りの時間をこれに当てたいのです。

それは、イスラエルへ侵攻する連合軍が、神ご自身によって壊滅的な敗北をもって対処される迅速さと関係しています。実際、神はエゼキエル書38章の預言の中で、「わたしがこれをする。すると彼らは、わたしが神であることを知る」と仰います。それでしか説明がつかないのです。

そして、中東の地図を見さえすれば十分です。イスラエルと呼ばれるこの小さな切れ端を見れば、イスラエルという名前さえ取まらないので、地中海上に国名を書いて、その小さな切れ端に矢印を引っ張らなければならないのです。そして、ロシア！イラン！トルコ！

この特定の詳細について興味深いのは、エゼキエル書38章の最後の三節と、イザヤ書17章の最後の三節は、両方とも同じ出来事を預言しているようであることです。つまり、このマゴグの戦いが突然に、また急速に終わることです。私も含めて、それが24時間以内に終わるだろうと考えている人たちもいます。それほど素早く、それほどあっという間に。私はさらに突っ込んで、これが素早く、突然終了するだけでなく、これはまた突然、すぐに始まるだろうということも言うておきます。

タイムズ・オブ・イスラエルからの記事を引用したいと思います。その間、皆さんに注目していただきたいのは、特にその言葉づかいと、それが、イスラエルが、何か、間もなく、非常に速く起ころうとしていることに対して準備しているということに関係していることです。

「IDFの参謀総長であるアビブ・コハビ（私は彼の名前を正しく発音できていますかね）は、木曜日、イスラエルは北と南の両方で、紛争の脅威に直面しており、軍隊に（直接引用しますが）「迅速に戦争の準備を」させざるを得ない、と警告した。IDF参謀総長は続けて、——引用——

「北と南の状況は緊張し、不安定であり、紛争に進展する体制が整っている。これに照らして、IDF、イスラエル防衛軍は（引用中です）準備を加速度的に進めてきた。陸軍長官は、（いいですか？）『勢い』、あるいはヘブライ語で『テヌファ』と呼ばれる計画の公表に当たって、発言した。これは、軍の活動を今後5年間を導くものだ。」

興味深いです。私は敢えて言いますが、皆さんは毎週これを聞かされていますが、すべてがそろってきています。そして、それは猛烈なスピードで非常に速く起こっています。預言アップデートを準備していて、実際、その週の月曜日にその週の準備を始めることができていた時がありました。少なくとも、どんな方向に主が私を導かれるのかが分かって、火曜日に足りない情報を得て、水曜日にはもうちょっと点を結んで全体像を得て、木曜日には、週の半ばの木曜夜の準備をしているので、簡単に復習します。それから金曜日には、それに何かを追加するかも知れません。それから土曜日は、それをまとめて完成させます。そして日曜日の朝、最後にもう一度検討して、日曜日の朝、ここに来て、預言アップデートをします。もうそんな感じじゃない。

そんな風に言っても良いですか？ もう言っちゃいましたけど。そんな時代は行っちゃいました！

今はどんな感じが知ってますか？ 日曜日の午後、教会から家に辿り着くと、私はまるで、「ああ、なんてこった！」と言う感じです。なんで彼らは、土曜日まで待てなかったんだ！ だって...だって、だって...

電話をかけて、「ねえ、私の次のアップデートは、次の日曜日なんです。ちょっと待っててもらえませんかね。」と言いたいくらいです。いいえ、待てませんよ。状況はものすごく速く動いていますから。

最良の例えは、これです。私は先日、このことに気付いたばかりなんですけど、私は早送りしていました。今は、32倍速で早送りすることができます。

その昔——私が昔というのは、聖書預言を教え始めたときのことを言います——を思い出します。まだ本土にいた、90年代のことです。昔のことです。遠く遠く離れた地で、私はVCRのたとえを使っていました。いやはや、もう8トラックのカセットテーププレーヤーの話をしているようなものですね。

こんにちでは全てがライブストリーミングで、32倍、64倍で早送りできますし、コンピューターで見れば、マウスを使って好きな部分にまでドラッグするだけでいいんです。好きなだけ、スピードアップすることができます！ 私が言いたいのはこのことです。一時停止ボタンは押されていません。私はそれが押されるのを一度も見ませんし、再生ボタンが押されているとも思いません。私は、早送りになっていると確信しています。少なくとも32倍速く、ところで、これは聖書と適合します。聖書、特に聖書の預言を読むと、もっと言えば特に黙示録の中で、イエスが「わたしは、物事が回転を速めている時に来る。見よ、わたしはすぐに来る」と言われています。「見よ、わたしは来る。」私たちが読んでいる福音書の中で、イエスが言われています。「見よ。わたしは思いがけない時に来る。」つまり、突然来るのです。それから、テサロニケ人への手紙第一5章3節。私のお気に入りの聖書預言でもあり、聖句でもあります。日曜日朝の聖書講解でテサロニケ人への手紙第一をやっていますが、5章に行くのが待ち遠しいです。この調子で行くと、それが携挙前であつたらいいと思います。なぜなら、携挙は実は4章に書かれているので、恐らく4章で携挙されるでしょう(笑)。

### テサロニケ人への手紙第一5章

**3 人々が〔二語です〕『平和だ。安全だ。』と 言っているそのようなときに、突如として〔これがキーワードです。〕滅びが彼らに襲いかかります。ちょうど妊婦に産みの苦しみが臨むようなもので、それをのがれることは決してできません。**

あまりにも突然に、とても緊急に素早く、まったく思いがけない時に。私たちはこれについて話したことがありますし、それについてあんまり時間をかけたくありませんが、少なくともそれに言及することは適切なことでしょう。私はますます確信の度合いを深めているのですが、携挙は恐らくこの突然の破壊と同時に起こります。可能性としては、イザヤ書17章1節のダマスカスが破壊される預言に必然的に伴い、それがきっかけとなつ

て、エゼキエル書38章の預言によりイスラエルが侵略がされます。

言い換えれば、それはとても速く起こります。

では、質問の一つは、エゼキエル書38章の預言は、携挙のどこに組み込まれるのでしょうか？

携挙が起こる前に何も起こる必要がないのは心に留めておいてください。だから、考えるに、エゼキエル書38章の預言と、シリアに関するイザヤ書17章の預言が、携挙と同時に、または携挙の直後に起こるといことです。もう一つの質問は、7年間の患難を始めるものは何ですか？携挙ですか？

いいえ。必ずしもそうであるとは限りません。それもありません。でも、ダニエル書9章27節のみことばから、真実であると分かっているのは、この7年間の平和条約が、7年間の患難の始まりとなります。私は個人的に信念を持っています。また私はこれについて独断的になりたいとは思っていません。

しかし個人的には、こう信じています。いったんエゼキエル書38章の預言が成就され、国々の同盟が崩壊すると、全世界が、この突然の壊滅的な破壊の後で、世界的指導者が現れて平和をもたらすように求めるでしょう。繰り返し、私はそれについて独断的になりたくありませんが、次のように提案する人たちもいます。エゼキエル書38章には、また別の詳細があつて、今はその時間がないのですが、それは、エルサレムの地形全体を変えてしまうまで信じる人たちがいる、大地震のことです。それによって、彼らは神殿の丘に神殿を再建することができるようになるでしょう。そこには今は岩のドームが立っています。オマールのモスクです。それは現在、イスラム教によって支配されています。ちなみに、それは本当に興味深いものですが、地震でほとんど解決すると思いませんか？

それはこんな感じです。「どうしたらいいんだ？岩のドームが邪魔だ。」すると神様は「心配するな。わたしが面倒を見るから。(笑) 「さあ、わたしを見ていなさい。」 すご〜い地震「さあ、ここに置きなさい。」

「わかりました〜。(笑)そこは良い場所だね。

ふざけた言い方をして申し訳ありませんが、すべてが早送りされていることに同意してくれますか？

また、このことにも同意してくれますか？この止めることのできない勢いがあつて、非常に勢いがあつて、物事があまりにも速く動いているので、あなたが朝起きて、ロシアとトルコとイランが、すべてシリアから撤退したというニュースフィードを読むシナリオを想像するのは難しくないですか？

「もう何も問題はない」と？「みんなで抱き合みましょうよ。」そうなるとは思えません。

私は先週、このことについて考えていました。私の話はもうすぐ終わります。信じないかもしれませんが、1948年以前に、聖書預言を教えている人たちがいたんです。そして、彼らの、言わば「預言アップデート」は、イスラエルが国家として生まれ変わるのだ、ということについてでした。エゼキエル書のまさにここにあります。そして奇跡的に...そして、それが時計を刻み始め、いったんイスラエルがその土地に戻ったら、彼らはロシア、トルコ、イランそしてこれらのほかの国々によって北から侵略されるでしょう。想像できますか？70年以上前です。想像できますか？聖書とその預言が教えられているのを聞いて、あなたが心の中で思っています。「まさかー！」「そんなはずはない。」当時の聖書の解説でさえ... すごく面白いですよ。なぜなら、彼らは、1948年以前にこう言っていました。

「このことが起こりますよ。」それは起こりました。そして、私たちは今2019年にいます。私はここに立って、言っています。「おやまあ、なんとということだ！」それはまさに、私たちが言われた通りだ。1979年以前、イランはイスラエルと同盟を結んでいました。それは...びっくり仰天じゃないですか？1979年、私は中学生でした！計算を始めないでください！私は8歳でした(笑)。1980年に卒業しました。1979年、すべてが変わりました！よく言われるように、「その後のことは周知のとおり(その後は歴史)」です。もっとうまく言うなら、その後は預言です。最後に言わせてください。

聖書にこれらの詳細な預言があるのは、神が私たちに知っておいてほしいと願っておられるからです。

主は私たちに警告したいのです。私たちが準備するように、信じていない人が信じるように、そして信じている人は頭を上げて見上げるように。なぜなら、彼らの贖いが近いからです。こんな風に言いましょうか？聖書の預言に関しては、神は私たちが無知であることを望んでおられません。それは公平ですか？主は私たちに知ってほしいのです。それは福音の一部だからです。だからこそ、私たちは預言アップデートをし、救いの福音を伝え、救いのABCをシェアするのです。それがすべての要点です。それが福音の一部です！福音は、イエスが一回目に来られ、主は十字架につけられ、葬られ、そして三日目によみがえられ、そして、いつかまた戻って来られることです。それが良き知らせです。悪いニュースだらけの世界で。パウロがコリント人への手紙第一の15章で書いています、彼は福音をそのように説明し、彼は二度、非常に興味深いことですが、「聖書に書いてある通りに」と言っています。言い換えれば、聖書預言の通りに。イエスは、初臨において、預言を成就されました。そしてまた、主は教会の携挙と、再臨においても、預言を成就されるのです。私は、救いのABCをしたいと思います。もう二、三分お許しください。皆さんが毎週、毎回聞いているというのは分かりますが、これを初めて聞くという人がいるかも知れません。

Aは自分が罪人であるということを Acknowledge（認識する）または、Admit（認める）。皆さんは、神の完全な義の基準に達していません。これが、悔い改めることの意味です。心を入れ替え、罪に背を向けて、罪人であることを認識し、認め、救い主に罪の赦しを求め向き直すことです。これが最初のステップです。とても単純です。

### ローマ人への手紙3章

#### 10義人はいない。一人もいない。

イエス・キリストおひとりを除いては。

### ローマ人への手紙3章

#### 23 すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず

私たちは、皆、アダムの子により、罪を犯す者として生まれたので、第二の、最後のアダムとしてのイエスにより、新しく生まれ変わらなくてはなりません。

ローマ人への手紙6章23節 良い言い方が見つからないのですが、悪い知らせを最初に提示するというか、最初に伝えておいて、それから良い知らせを提供します。私は時々、福音を未信者に伝える上で、悪い知らせから始めたら良いだろうと思うことがあります。皆さんの所に誰かが来て、「良い知らせと悪い知らせがあるけど、どっちから先に聞きたい？」と言います。

私はいつも、「サタンよ、下がれ。悪い知らせは聞きたくない！良い知らせだけを聞きたい！」と言います。

問題は、悪い知らせが悪い(badder)ほど、良い知らせが良くなる(gooder)ということです。

この英語が適切ではないことは分かっているので、私にeメールを送って寄こさないでください。

悪い知らせが悪いものであるほど、良い知らせが良いものになります。そして、その悪い知らせは本当に悪いんです。すごく、すごく、悪い。悪い知らせが何なのか知りたいですね。おお。死です。

### ローマ人への手紙6章

#### 23罪の報酬は死です。

永遠に死刑です。これが悪い知らせです。どうして？それは皆さんが、神の律法を犯したからです！

私たちは皆、神の律法を破ったのです！私たちは皆、神の完全な義の基準に達していません！

ほら、重りなわ（下げ振り）について話しましたね。テサロニケ人への手紙第一。つまり、ここが神の義の重りなわ。それから、私たち罪人はここ。ワ～オ。ほら、それが悪い知らせです。ここに良い知らせがあります。

## ローマ人への手紙6章

### 23 しかし神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある 永遠のいのちです。

どのようにして？ おお。良い質問です。それがBです。イエスが主であることと、神がイエスを死からよみがえらせたことを、心でBelieve（信じる）。これがローマ人への手紙10章9節から10節。

## ローマ人への手紙10章

### 9 もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。

なぜ？ どのようにして？それは、主が皆さんの身代わりに死んでくださったからです！ホントは皆さんが死ななきゃならなかったのに！そして救い主であるイエス・キリストは、永遠の法廷に入り、宇宙の裁判官に言いました。「おやめください！わたしはあなたが彼、あるいは彼女に死刑判決を下したばかりだということは分かっています。わたしは彼らの身代わりに死に行くことをいといません。」

そして裁判官はあなたを見て、言います。「ワ～オ！おめえ！」おめえとは言わないでしょうけどね。

これはすばらしい知らせだ。良い知らせだぞ！何だと思うかい？あなたは自由だ！あなたの負債は支払われた！それが福音という言葉の意味だと理解していますか？良い知らせですよ！あなたの負債は支払われました！自由になったんですよ！そして、御子が自由にしてくださった人は、確かに自由なのです！おお！それは、それは、イエ～イ！それは本当に良い知らせです！

ここで、Cです。Cは主の御名をCall（呼び求める）。

また、ローマ人への手紙10章9節から10節で、Confess your mouth（告白する）。

## ローマ10

### 9 もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。

ここに理由があります。「人は心で信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」

つまり、すべての膝がかがめられ、すべての舌が「イエス・キリストは主である」と告白します。

しかし、イエス・キリストが主であると、今、口で告白する私たちは、救いのためにそのようにしています。自分の口で、イエス・キリストが主であると告白する者が、救われるのではなく、永遠の罪を宣告される時が来ます。誰もが、どちらにしろ、告白するのです。最後に、ローマ人への手紙10章13節。

## ローマ10

### 13 主の御名を呼び求める者はみな救われる。

とっても簡単です。私にとっては37年前のことです。主が予定より長く天にとどまっておられるなら、38年になります。単純に、主の御名を呼び求めただけでした。一人きりで、自分の部屋で。自分の心で信じ、口で告白し、主に信頼を置き、罪の赦しを請い、そして私は救われたのです。複雑ではありませんでした。とっても簡単でした。子どもでも分かります。もし、今日、この教会にいる方、またはオンラインで見ておられる方で、主の御名をまだ呼び求めたことのない方に、私は必死でお願いします。

「先生、毎週そう言ってる。」分かってます。しかし、私がもう言わなくなる週が来ます。そして、預言アップデートもありません。必要ありません。私たちはいなくなります。皆さんも行ってしまった方が良いでしょう。なぜなら、まず第一に、皆さんにはこのすばらしい建物があります。私は彼らがそれをどうするのか分かりません。おそらくそれをモスクに変えるのかも知れませんが、とにかく、私は「レフトビハインド」の映画の見過ぎですね

(笑)。皆さん、ご起立ください。

主よ、ありがとうございます。私たちは笑いますが、ほろ苦い笑いのようなものです。というのは、このことすべてには厳しい真剣さが伴い、我々はそれを認めるからです。

私たちは、世界で起こっているすべてのことが、まさにあなたが言われた通りに起こっているのを見ています。私たちの中の幾人かには、それは非常にワクワクするものです。なぜなら、それが何を意味するのか知っているからです。あなたが戸口に立っておられ、もうすぐ来られます。恐らく私たちの誰もが認識しているよりも早く、それはエキサイティングです。なぜなら、私たちは準備ができており、見張っているからです。

しかし、これが全くワクワクすることではない人がいます。(彼らには)これは恐ろしいことです。それは当然のことです。主よ、私は誰かを脅して天国に連れて行く方が、彼らにこびへつらって地獄に行かせるよりもずっといいです。それが聖書の預言の目的ではありません。それは脅すためではありません。ハインソン博士がいつも言うように、準備するためです。

しかし同時に、箴言が「知識の初め。」(箴言1:7)というように、健全な恐れもあります。

#### **箴言1:7**

**主を恐れることは知識の初め。**

#### **箴言8:13**

**主を恐れることは悪を憎むことである。**

ですから、主よ、私は、あなたを知らない人たちに主の恐れが来ることを、あなたに求めているのかも知れません。彼らがあなたと正しい関係になれますように。あなたが戻って来られる時に、彼らにあなたへの準備が出来ているように。主よ、感謝します。

主イエスよ、早く来ててください。イエスの御名で祈ります。アーメン。

---

メッセージby JD Farag

牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記hukuinn7